

平岸中学校第1学年 第1回定期テスト出題範囲表

2022年5月19日

		出題範囲等	学習のヒント、必要な物等
6 月 7 日	1 校 時	<p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>教科書「朝のリレー」 <input type="checkbox"/>教科書 P12～19「言葉に出会うために」 <input type="checkbox"/>教科書 P22～29「シンシユン」 <input type="checkbox"/>教科書 P30「情報を的確に聞き取る」 <input type="checkbox"/>教科書 P31「季節のしおり春」 <input type="checkbox"/>教科書 P32・33「情報整理のレッスン」 <input type="checkbox"/>教科書 P38・39 漢字1 漢字の組み立てと部首 <input type="checkbox"/>教科書 P40 漢字に親しもう1 <input type="checkbox"/>教科書 P238～241「文法1 言葉の単位」 <input type="checkbox"/>教科書 P42～45「ダイコンは大きな根？」 <p>★教科書と同範囲のワークからも出題します。</p>	<p>◎教科書を熟読することが大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント・ノート・ワーク・確認テストの見直しをしましょう。 ・テスト範囲の語句で意味のわからない言葉がないようにしましょう。 ・漢字は基本的に教科書出題範囲のすべてですが、 漢字は主に、ワークP21から出題します。 <p>◎ワークは早めに終わらせ、間違ったところや、できなかったところをやり直す時間を計画に入れましょう。</p> <p>・テスト前にワークを提出してください。</p>
	2 校 時	<p>数学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の復習 <input type="checkbox"/>ワークp1～p9 ・正負の数 <input type="checkbox"/>教科書p1～p65 <input type="checkbox"/>ワークp10～41 	<ol style="list-style-type: none"> ① 基本問題はワーク、授業プリントと同じ傾向の問題を出題します。しっかり復習しましょう。 ② 考え方を応用する問題も出題します。基本原則を深く理解しておきましょう。 ③ 小学校の範囲も復習しましょう。
	3 校 時	<p>社会</p> <ul style="list-style-type: none"> 地理教科書 P2～P39 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>【世界の姿】 <input type="checkbox"/>【日本の姿】 <input type="checkbox"/>【人々の生活と環境】※P39まで <input type="checkbox"/>ワークは P2～P27 <input type="checkbox"/>授業で使用したワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、ノート、ワーク、ワークシートを振り返っておくこと ※ノートはテスト後1回目の授業で点検します。 ※ワーク(P2～P27)は定期テスト当日点検します。 ○付けを実施しておくこと！ <p>・ワークなどを繰り返し実施し、完璧に解けるようにしましょう。</p>
	4 校 時	<p>理科</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>プリント No. 1～No. 9 <input type="checkbox"/>小テスト No. 1～No. 3 <input type="checkbox"/>教科書 P138～P153 <input type="checkbox"/>教科書 P130～P137 の実験の注意点については各自目を通して学習しておきましょう。 <input type="checkbox"/>ワーク P2～P5 P56～P65 	<ol style="list-style-type: none"> ① ワークから何問か出題しますので、範囲のワークに取り組むとよいでしょう。 ② 授業内で触れた言葉、プリントに書いてある理科用語を説明できるようにしておきましょう。 ③ 小テストの内容も出題範囲内です。解きなおしておきましょう。実験器具(ガスバーナーやメスシリンダーなど)の取り扱い方法について見直しておきましょう ④ 密度の計算問題が出題されます。単位、少数の取り扱いなどに十分注意して対策しましょう。 ⑤ 教科書 P130 から P137 については授業で説明があるのできちんと学習しておきましょう。

	5 校 時	英語	<input type="checkbox"/> 教科書の範囲 Unit0～unit2 part2 (p.4～p.23) <input type="checkbox"/> ワークブックの範囲 教科書と同じ <input type="checkbox"/> 授業で配った be 動詞と一般動詞のプリント	① しっかり書けるように練習してください。 ② 教科書を何回も読みましょう。 ③ リスニングテストはありませんが、時間配分を考えて取り組みましょう。
--	-------------	----	---	--